

今年も「薬剤耐性(AMR)」「抗菌薬」をテーマに川柳を大募集！

# 第2回「薬剤耐性(AMR)あるある川柳」 11月1日(木)より公募開始


<http://amr.ncgm.go.jp/senryu/2018>

※2018年11月1日(木)より閲覧可能



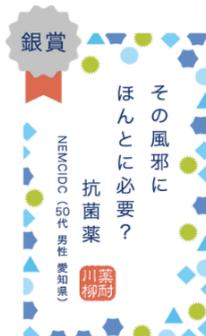
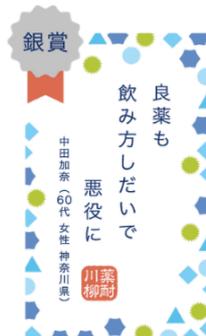
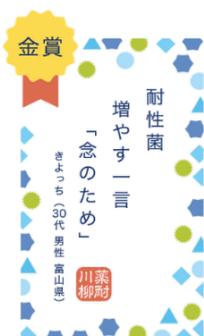
薬剤耐性(AMR=Antimicrobial Resistance)とは、病原体が変化して抗菌薬(抗生物質)が効きにくくなる、または効かなくなることです。近年、抗菌薬が効きにくい「薬剤耐性」(AMR)をもった細菌が世界的に増えており、大きな社会問題になっています。

AMR臨床リファレンスセンターでは薬剤耐性(AMR)と抗菌薬に関する正しい知識や予防対策などを伝え、「薬剤耐性菌をつくらない、増やさない」対策に取り組んでいます。その啓発活動の一環として、AMR対策について一般市民の方にも自分の事として関心をもっていただき、理解を深め、考えていただく機会として、昨年に引き続き、第2回「薬剤耐性(AMR)あるある川柳」の公募を行います。

「つついしてしまう…」「知らなかった!」「言われてみれば」「ある?ある!」など、共感できる、日頃感じていること、実体験を川柳として詠んでください。

応募は「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」の2018年11月1日(木)～11月30日(金)まで受け付けています。詳しくは、11月1日(木)よりAMR情報サイトをご覧ください。

## 【第1回「薬剤耐性(AMR)あるある川柳」昨年度入賞作品一例】



昨年度の「第1回 薬剤耐性(AMR)あるある川柳」は初回ながら、全国から合計3,129句のご応募をいただきました。

暮らしの中で薬について感じたことや、自身での経験の中から発想した句など、AMR対策を正しく理解し、表現された作品が多く寄せられました。これまであまり関心のなかった方にも、川柳を通してAMR対策を知っていただけるきっかけとなったのではと感じております。

選外作品の中にも、メッセージのある作品が多数みられ、facebookでも時おり紹介しています。

2018年10月23日



国立国際医療研究センター病院

AMR臨床リファレンスセンター（厚生労働省委託事業）



## 第2回「薬剤耐性(AMR)あるある川柳」応募要項

**タイトル：**第2回「薬剤耐性(AMR)あるある川柳」

**入賞：**最優秀賞（金賞） × 1名 賞状と賞品  
優秀賞（銀賞） × 2名 賞状と賞品  
入選（佳作） × 10名 賞状と賞品

**応募規定：**応募はひとり5句まで（※入賞作品はひとり1句までとなります）  
日本国内および海外に在住する小学生以上の方  
本人が創作した未発表で第三者の著作権を侵害しない作品に限ります。  
個人情報が含まれていない作品に限ります。

**応募方法：**インターネットによる専用フォーム、または郵送（ハガキ）にて受け付けます。  
AMR情報サイト専用フォーム <http://amr.ncgm.go.jp/senryu/2018>よりご応募ください。  
郵送(ハガキ)の場合は、下記の必要事項を記入の上、ご応募ください。

- ①作品
- ②ペンネーム（漢字はフリガナ明記）  
本名（漢字はフリガナ明記）
- ③生年月日・年齢・性別
- ④郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス

※応募作品は返却いたしませんのでコピー(控え)をとっておいてください

**送り先・お問い合わせ先：**

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-15-8 宮益ONビル 4F  
第2回「薬剤耐性(AMR)あるある川柳」事務局 行（株式会社カーツメディアワークス内）  
TEL：03-6427-1627 FAX:03-6730-9713／ Mail：amr-senryu@kartz.co.jp

**応募期間：**2018年11月1日(木)から11月30日(金) (必着)

**入賞発表：**2019年1月下旬(予定) AMR情報サイトにて発表。受賞者には賞品を発送します。

**応募上のご注意：**

応募及び入賞作品は、当主催者のWebサイト、SNS、報道資料等、広告広報活動の素材として使用することがございます。ご了承のうえ、ご応募ください。

**主催：**国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター